

寺子屋テキストの全容(案)



夜久 竹夫

夜久学館文化祭
2023.11.3(予定)

YGD-2023-010, CC BY-NC-ND, ©2023 YakuGakkan

1. はじめに

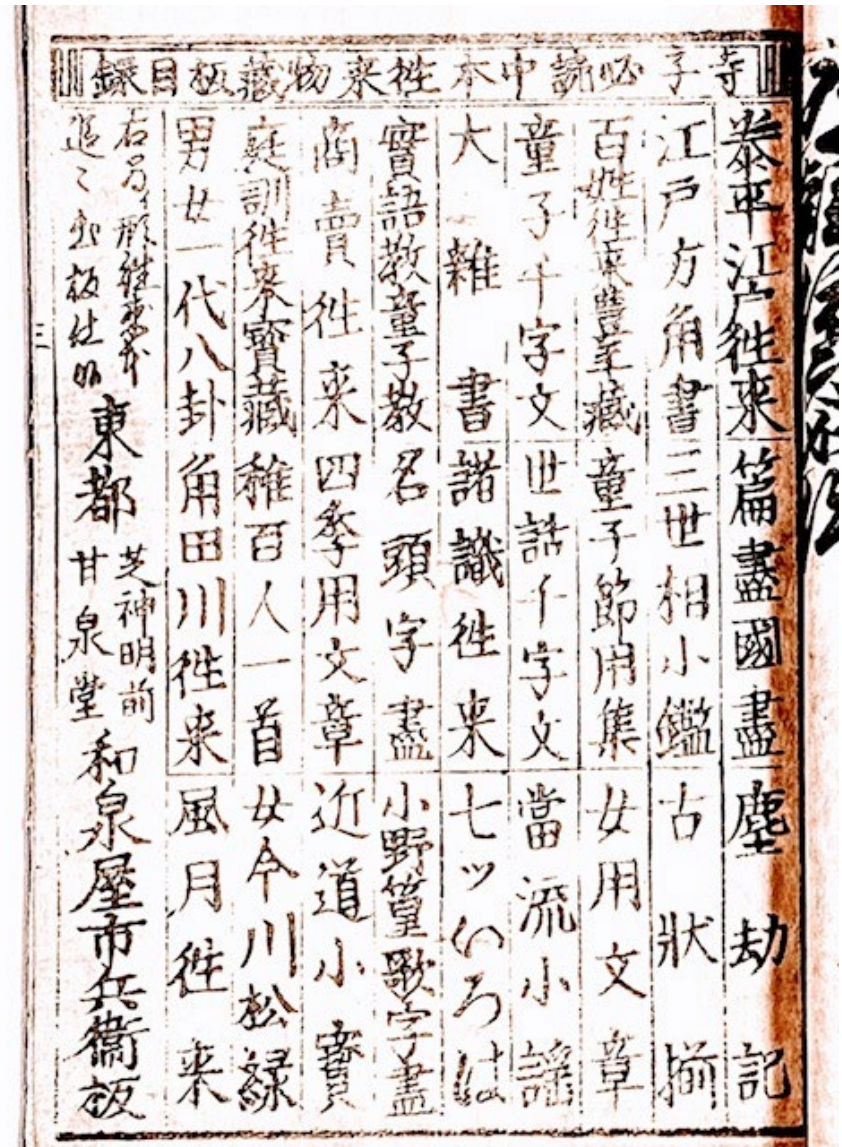
よく知られている寺子屋教科書は30種前後。ここでは：

①江戸時代の代表的な出版社
甘泉堂版百姓往来の広告頁
記載の必読書27タイトル

②近道子宝記載の必修図書
5タイトル

③よく引用される「五人組帳」
と「貞永式目」

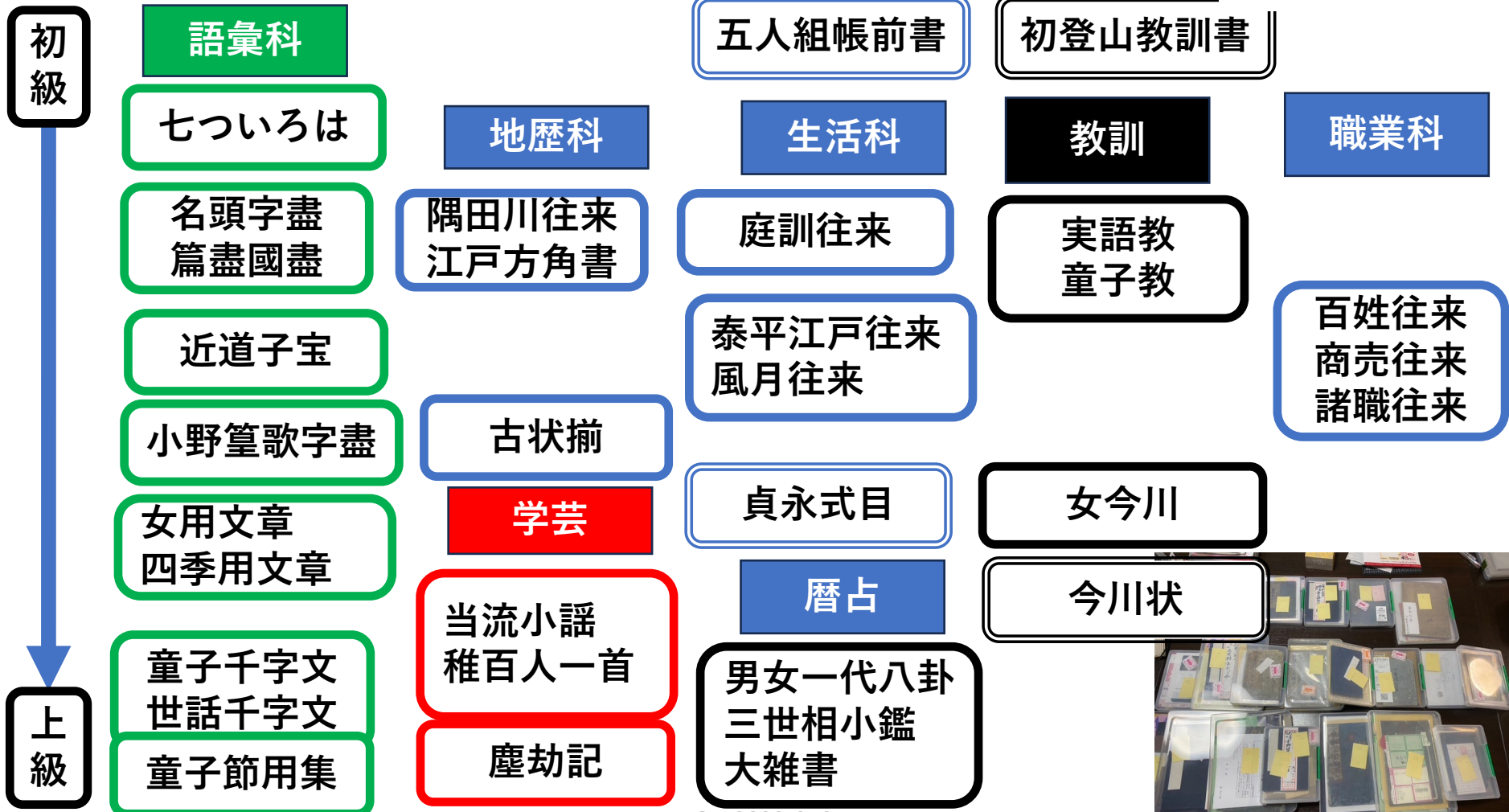
①②③合計31タイトル(重複除く)
の説明



テキスト一覧(分野・履修順序別)[4]



20頁/冊,300字/頁程度、1冊600字程度が多い



寺子屋におけるテキストの使われ方

先ず身に付ける。

意味はあとから考える。

⇒字を写すことが主体。

現在の理系や語学・体育の学習順序と同じ構図。

II. 科目別各テキストの説明

(1) 語彙科(国語科)

語1. 七ついろは

いろは47字x同音単漢字7種
+ 数字等の
計約500字の習字集

類書多い。
右はその一つ

10点、最も重視された科目。
学習順序：仮名→単漢字
→人名地名熟字
→生活上の語彙→長い文章



語2. 名頭字尽くし

右の例は

111文字x五体

源平から始まる名頭(名前)漢単字集

本文は行書、楷書、隸書、篆書、角字の五体

頭書に家紋など

漢字の成立順：

篆書→隸書→草書
→行書→楷書

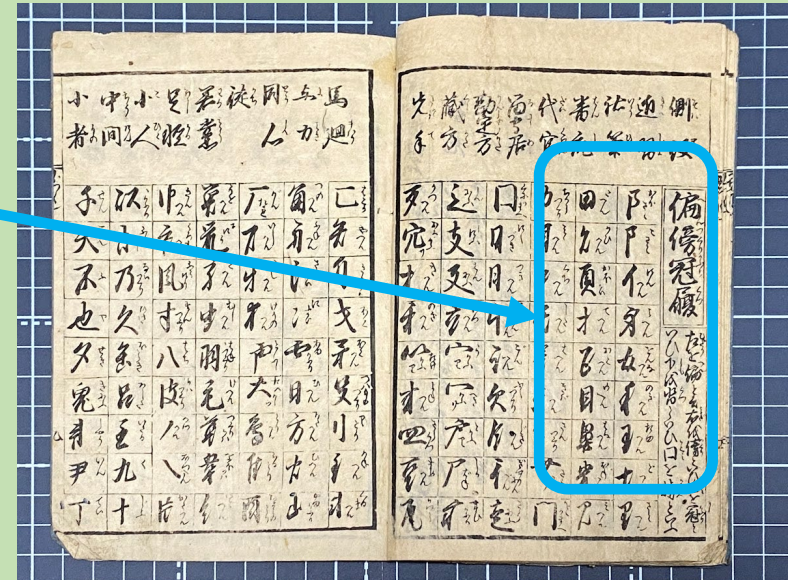
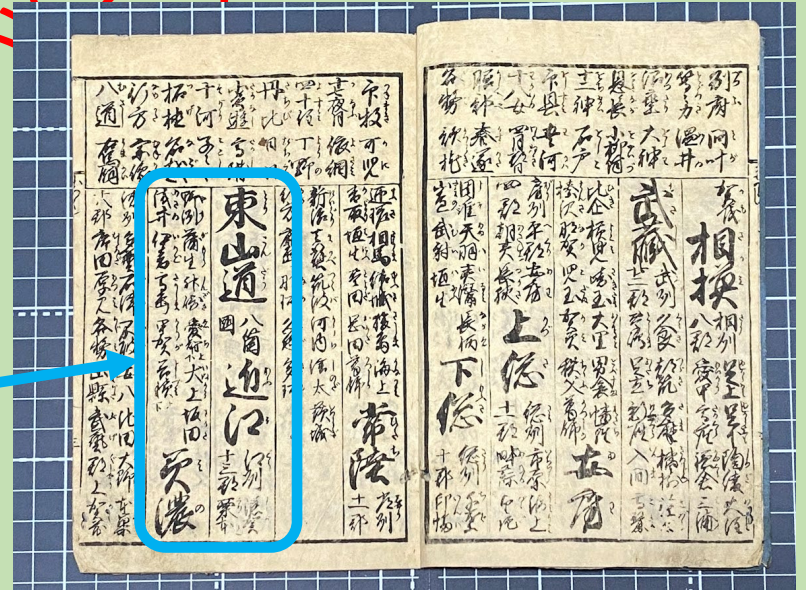


語3. 篇尽くし国尽く!

18p, 国名漢字熟語集

畿内から東海道(京から)、
東山道とつづく地名の
リストと

篇(偏)のリスト。



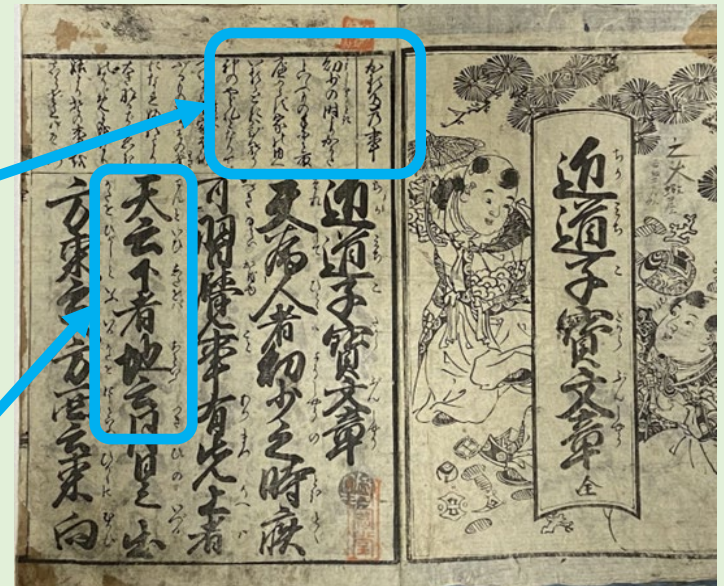
語4. 近道子宝

平井自休著、正徳3()、
方角・衣食住・職業等の基本語彙
と心得。

幼少時の必読書として次の5点を挙
げる②：

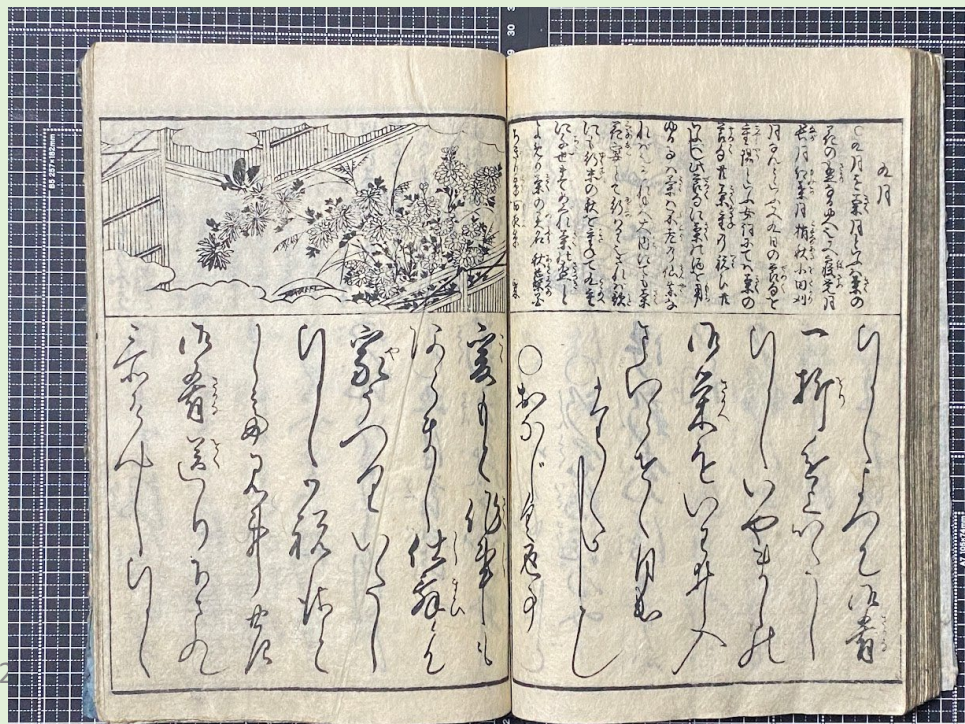
- 手習状(初登山手習教訓書)
- 実語教
- 江戸往来
- 今川状
- 庭訓往来

「上をは天という、
下をは地と云、
月日の出るを東といふ...」
で始まる。



語5. 女用文章(女用)

田中友水子原作、画工
北尾辰宣、明和9年
月順のかな文例集



語6. 小野篁歌字盡し

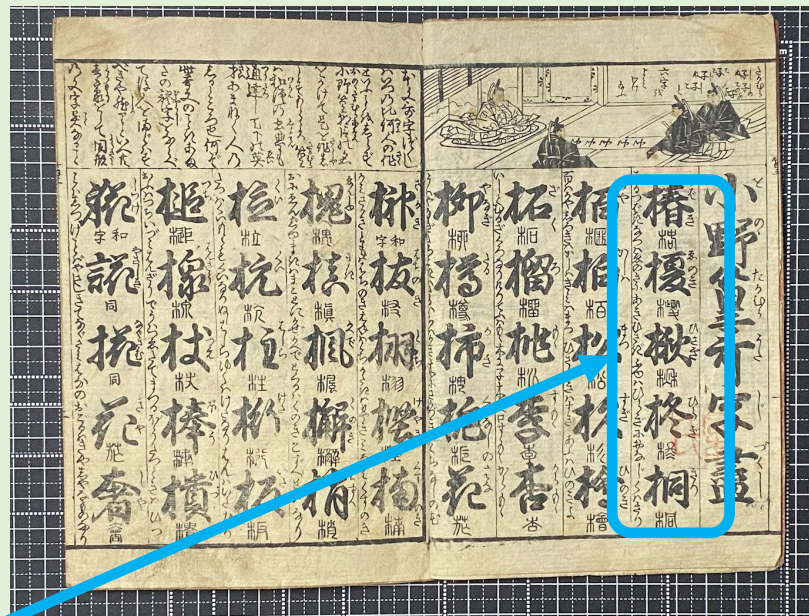
小野篁は小野道風の祖父。

和歌で覚える漢字。

部首の似ている漢字が同じ和歌に詠みこまれている。

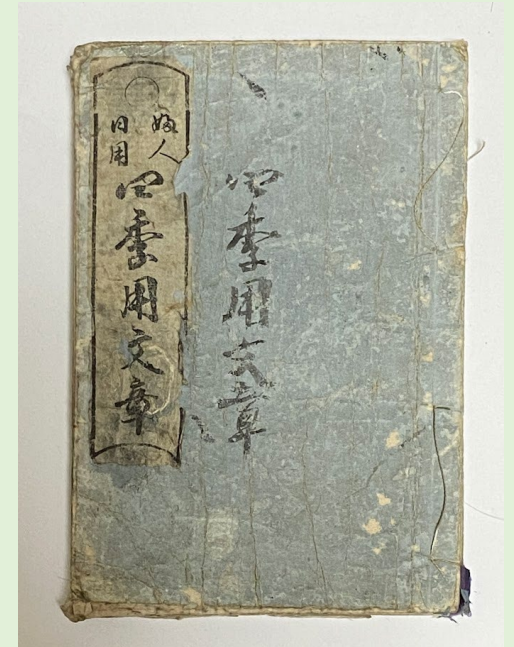
例えば

「春つばき(椿)、
夏はえのき(榎)に、
秋ひさし(木ヘンに秋)、
冬はひいらぎ(柎)に、
同じくはきり(桐)」



語7 ①16. 四季用文章

四季用文章 (小本) <
国語科教科書 季節順
の文例集>



語8. 童子千字文

天保14、細川並輔校
四体千字文の行書体楷書体
の内2体で
計2000字掲載
原文全文を記載。

四体千字文：周興嗣著、520頃
成立。

漢字版いろは歌、漢詩1000字に
漢字1000種を読み込む。

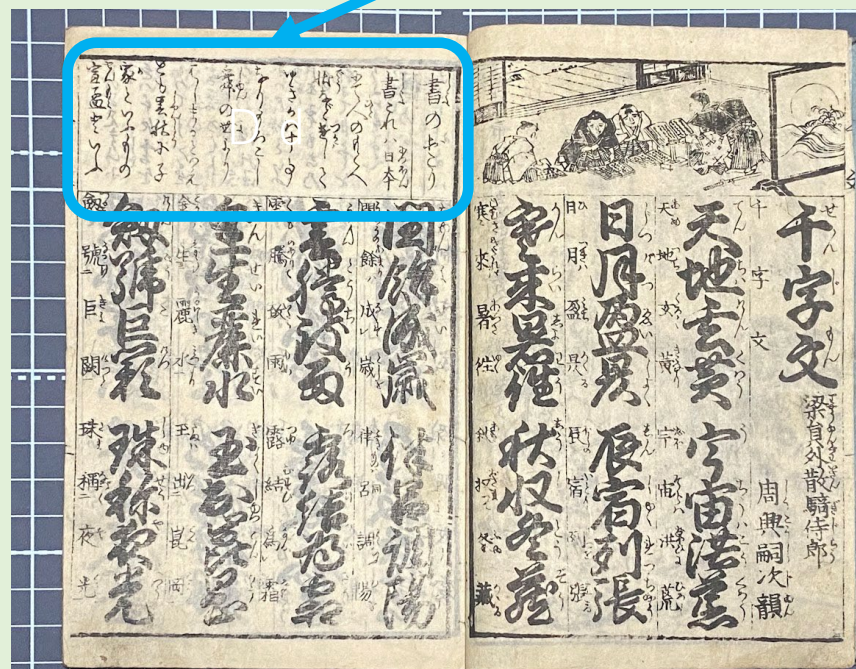
(現在の教育漢字：約1000)

1句4字の漢詩で世界の成り立ち
を記述。

本書は、頭書に

- ・書のおこり、
- ・曆のおこり、
- ・天子のおこり
- ・王号のおこり 等

もの事のいわれを追加



語9. 世話千字文せわせんじもん (世話千字文絵抄)

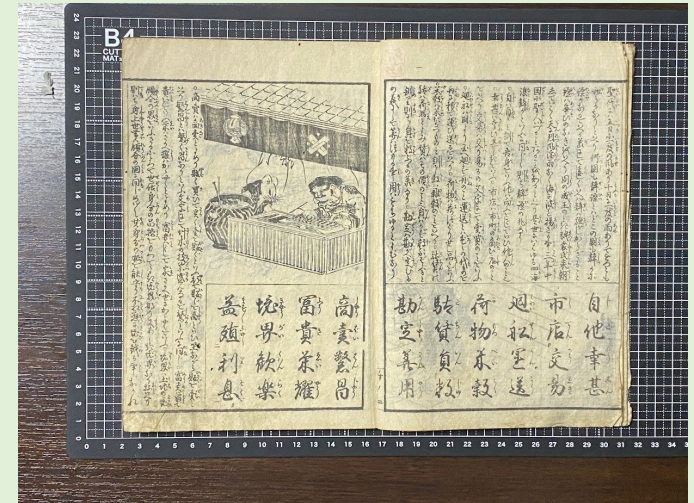
作者成立年不詳

〈生活科教科書、日常生活字典〉

本文は千字文に倣い、日常生活の教訓を4字1句の漢詩にした教訓集。

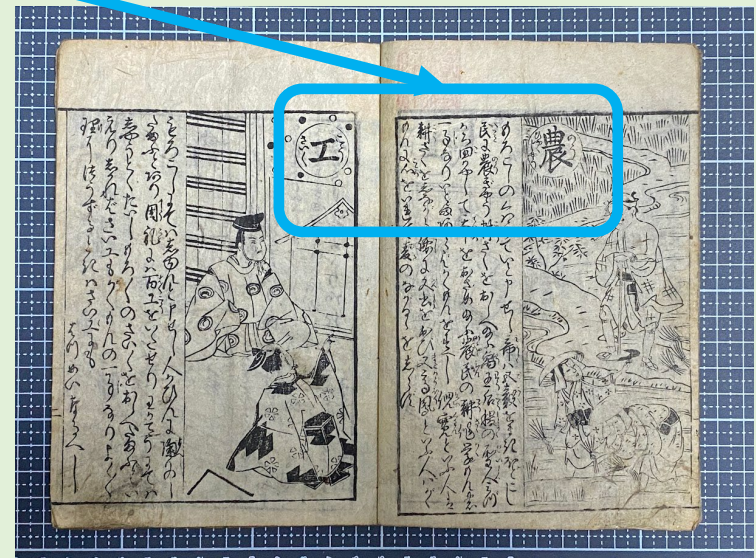
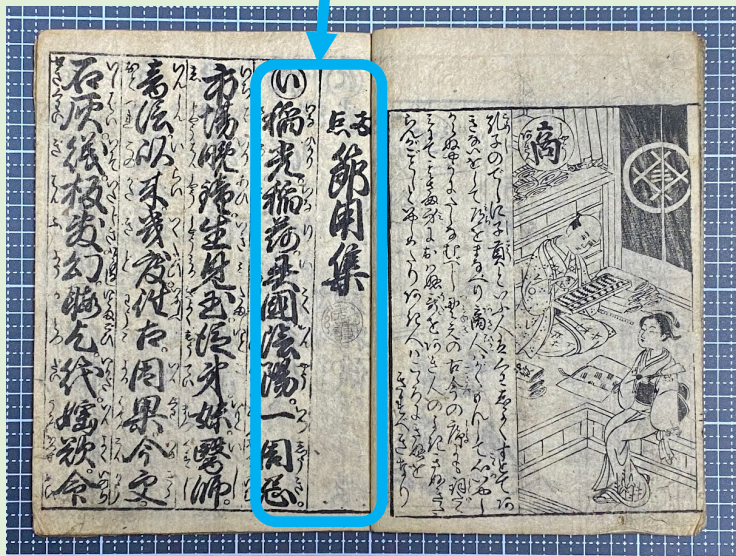
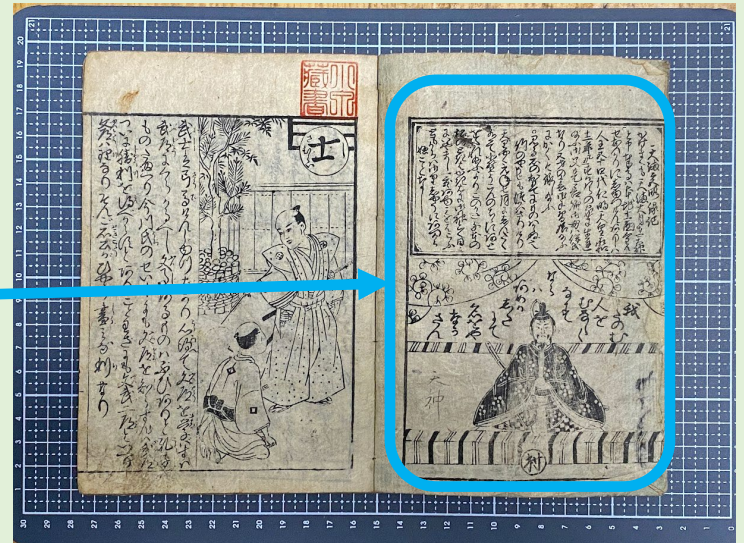
頭書に各種説明。

全部覚えると常識がつくようになっている。



語10. 童子節用集

子供用のいろは引き辞書
書き出しは天皇と
士農工商の説明。
続いているは順の節用集
(辞書)



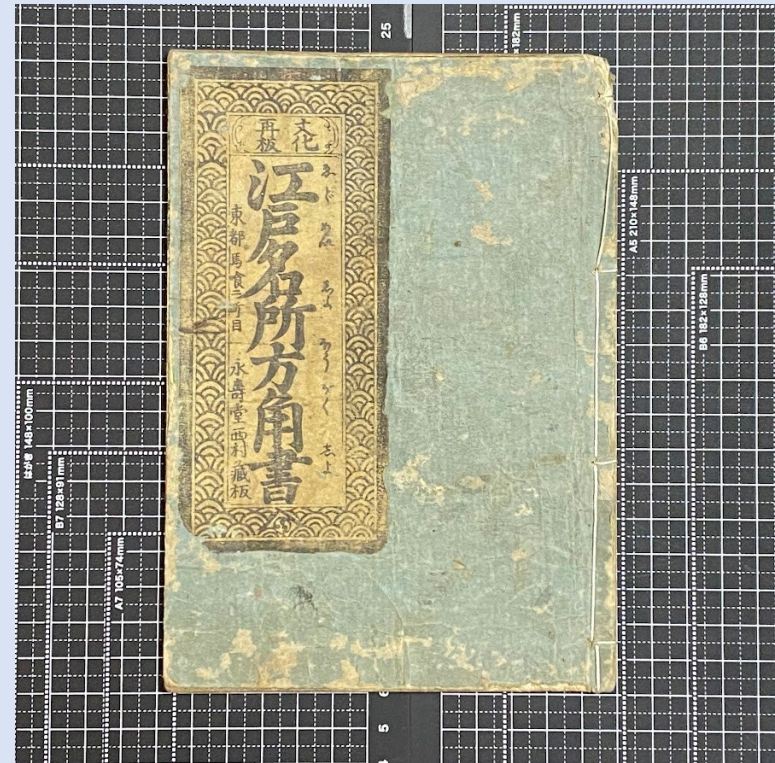
(2)地歴科

3点

江戸の地理、歴史

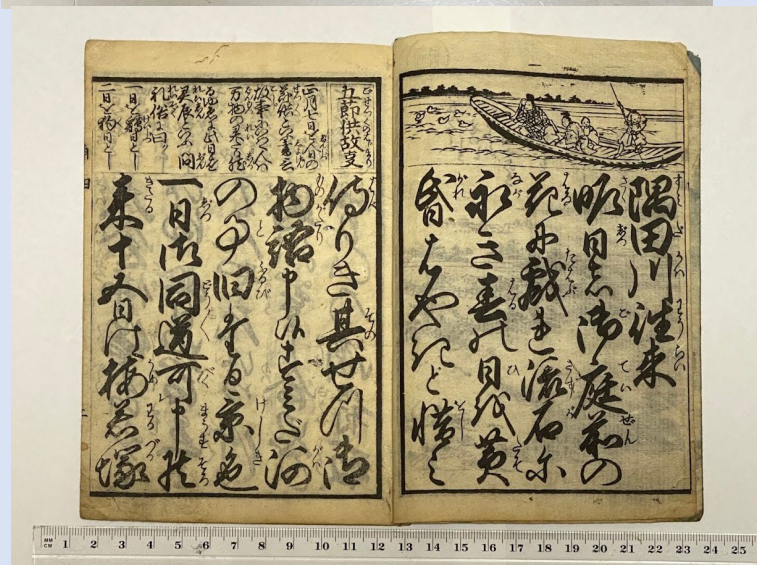
地歴1. 江戸方角書

- 松陰堂版・江戸名所方角書
- 江戸の地理案内



地歴2. 角田川往来

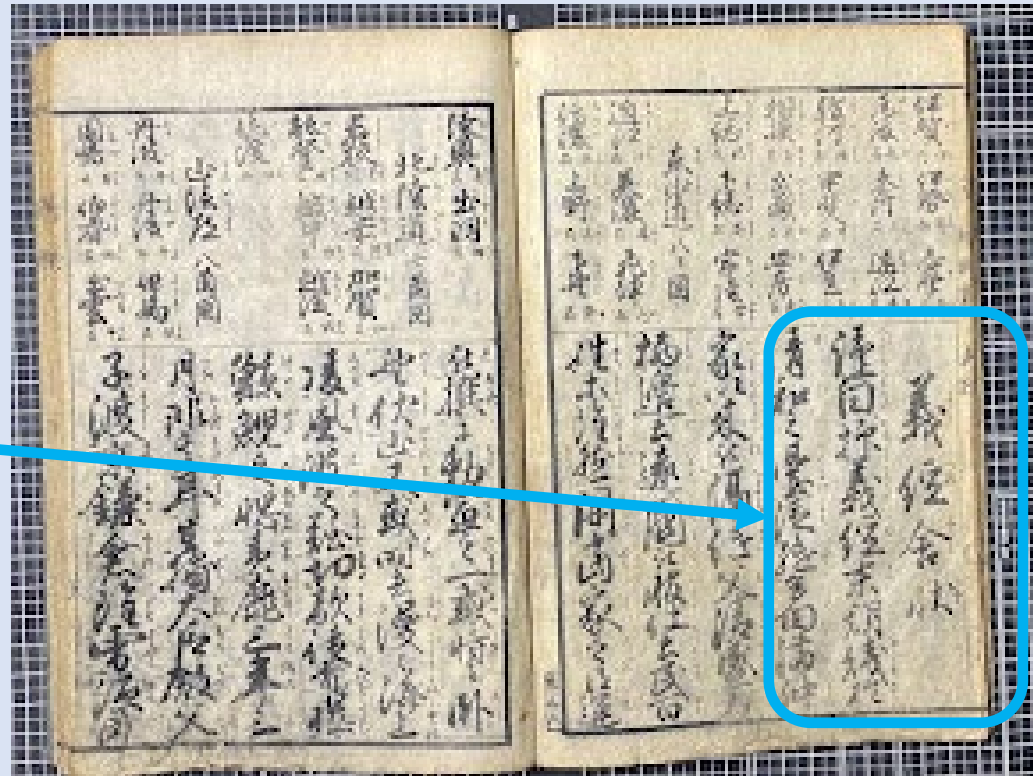
江戸の観光案内



地歴3. 古状揃 (児宝古状揃)

書画・暁春翁、安政
3再刻

文学入門書を兼ねる。
義経合状他の本文と
解説収録



(3)生活科

4点
風習、法律



生活1. 泰平江戸往来(自遣往来)

全編 1 通の手紙形式。

1. 年始の挨拶
2. 年始の江戸城の儀式
3. 諸国から流入する物品
4. 江戸の地理
5. 玉川上水の水を引いたことと両国橋をかけたこと
6. 不忍池の遊興の状況

を書いて、江戸の泰平を謳歌。



生活2. 風月往来

作者不詳、江戸後期成立

正月状から始まる、
毎月1例程度で12か月12通の

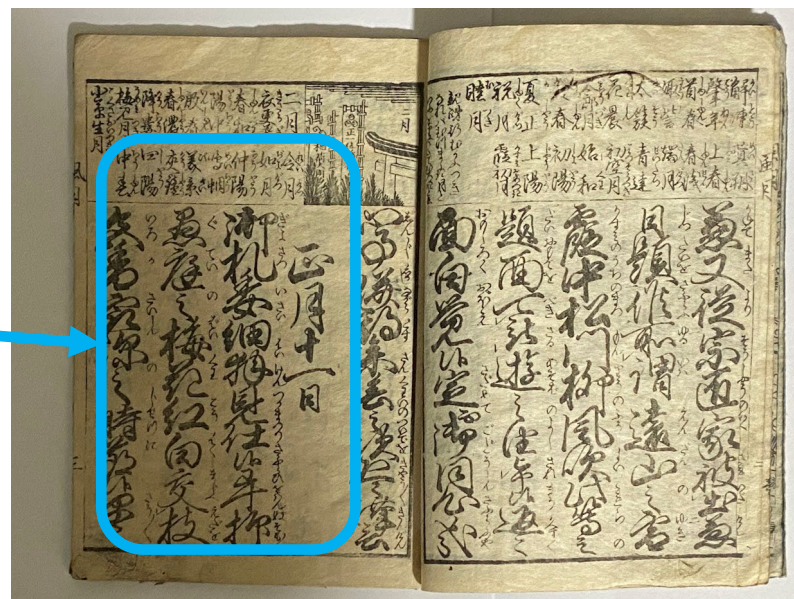
消息文手本

行事と季節の文例

書き出しは

「新春の御慶賀・・・」

1月11日分は



生活3. 庭訓往来

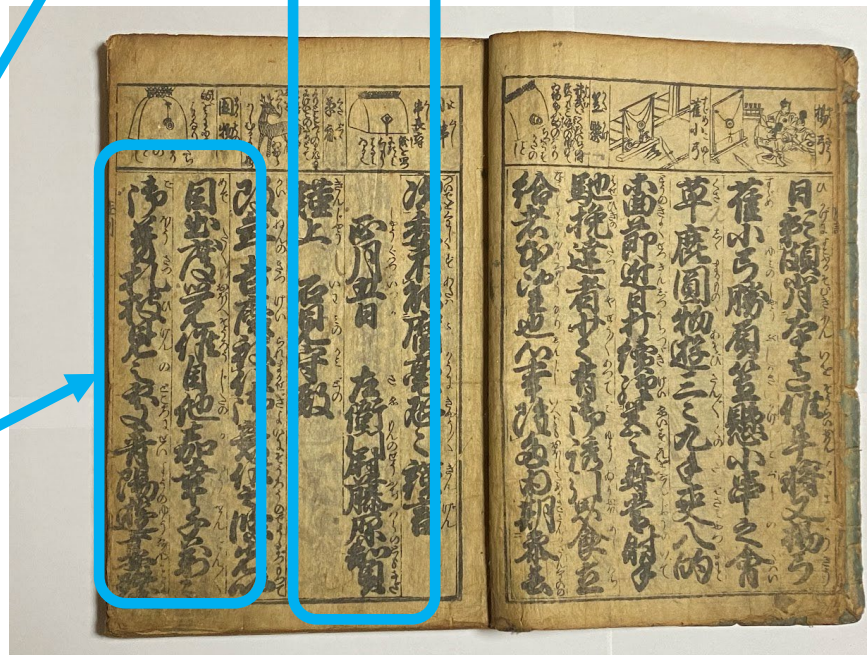
僧玄恵著説あり、
(室町前期頃成立)、

1か月毎に進状と返状
閏月に進状で合計25通の
書状例

衣食住、職業、産物等
日常生活に必要な単語と知識

1通目 「春始めの御悦・・・」
謹上 石見守殿」

2通目 「改年の吉慶・・・」





生活4. 貞永式目(御成敗式目)

北条泰時、貞永元年(1232)

当時の基本法(憲法)。

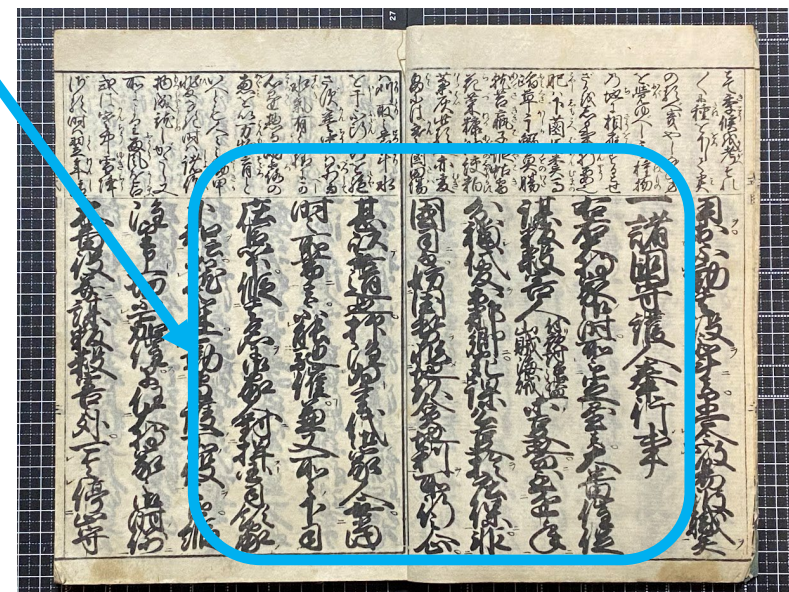
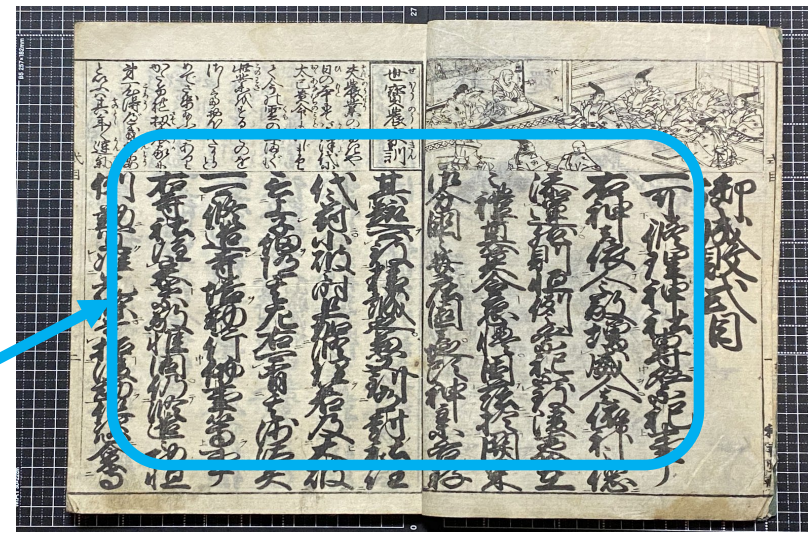
51ヶ条全文と訓点・解説。

1条2条 神社寺院の修理をし祭祀に勤める事。1条2条

3条 守護は守護の仕事以外をしてはならない。地頭と庶民に不法を行ったら解任

など。

寺小屋では習字の手本。



(4)学芸科

3点。
音楽、和歌、算数

17/24

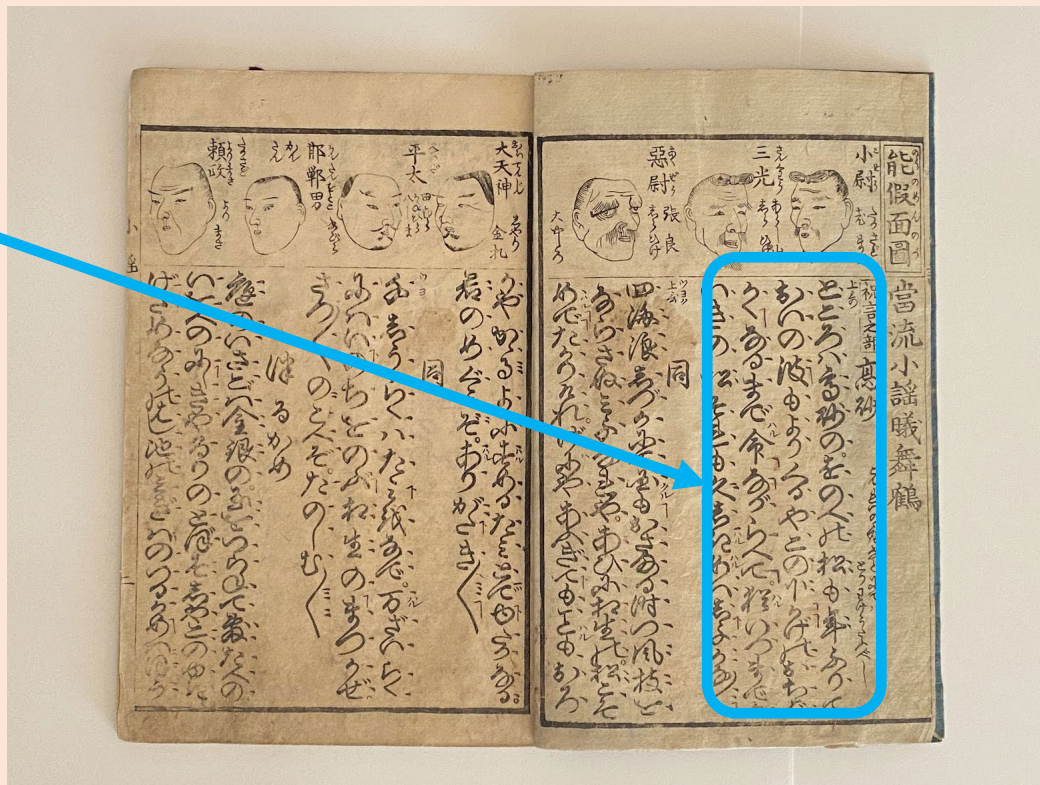


Lt1. 当流小謡

安政4再刻

「高砂・・・」

から始まる歌詞集



Lt2. 稚百人一首

- 稚百人一首 (中本)
<国語科教科書、百人一首の寺子屋版>
- 蔵書は稚百人一首



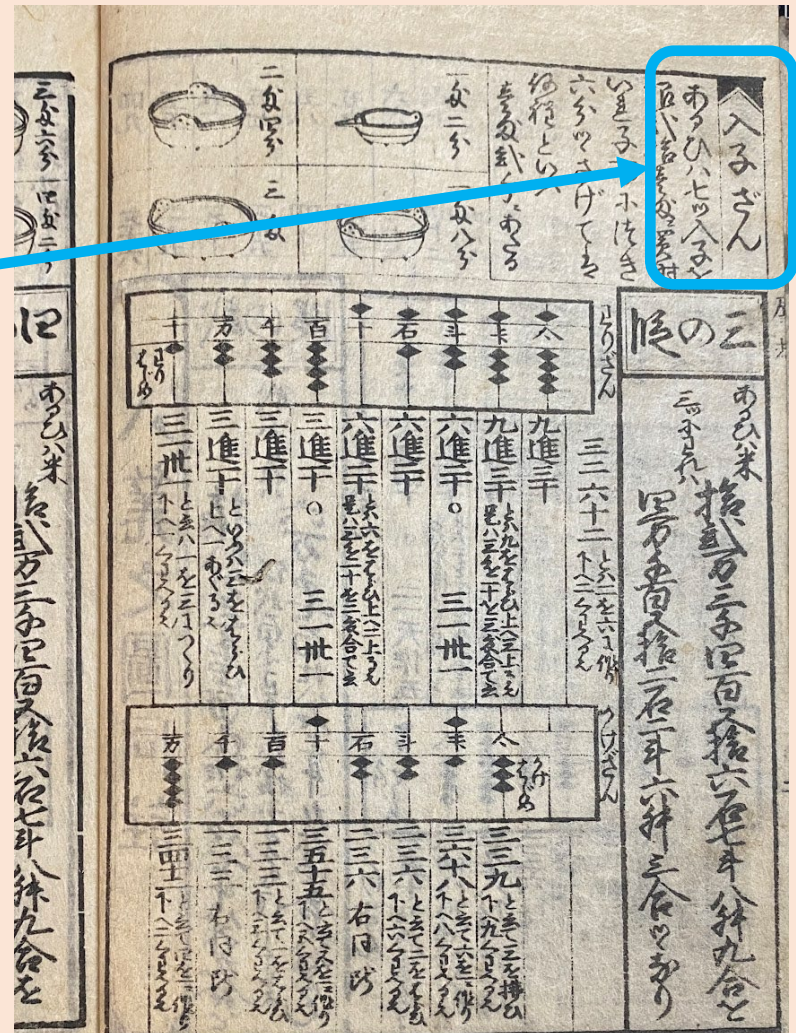
Lt3. 塵劫記、

吉田光由、1627

算数のロングセラー、

入れこ算

現代のねずみ算などの
原典とされる。



(5) 職業科

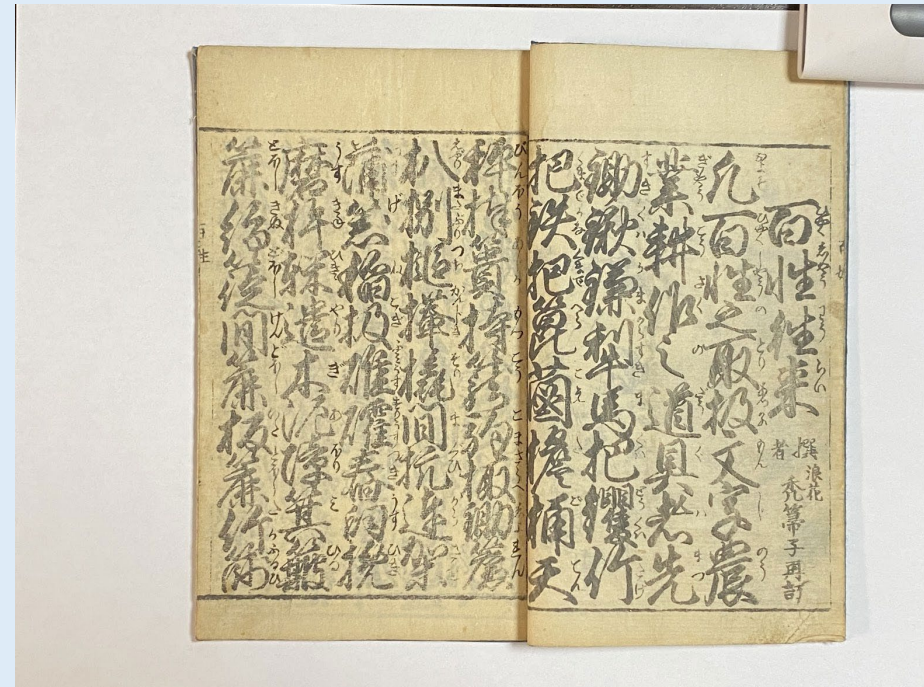
3点

農業、商業、諸業がよく使われた。

3. 百姓往来

秃箒子、(1766)
農業用語と技術、
職業倫理

(× 脱税はダメ！)



7. 商売往来

- 堀流水軒、(1694)
- 約1050字
- 商業用語と技術、
- 職業倫理
(× 偽物はダメ！)



14. 諸職往来

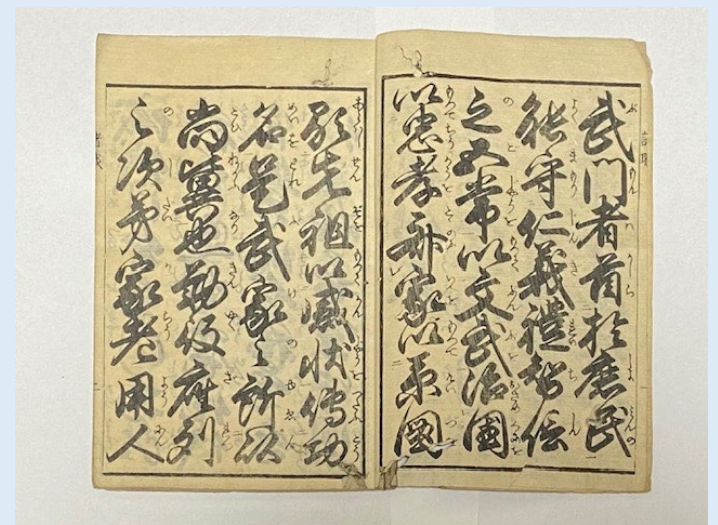
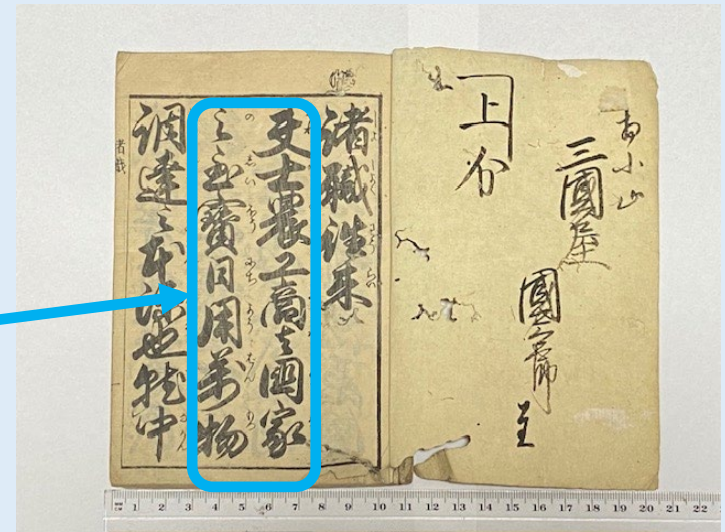
山田東作(賞月堂)

江戸後期

「士農工商は国家の至宝」

「(武)士は五常 (仁義礼智信)
が仕事！」

・士業(公務員)は(禄(税金))
を喰むのだからちゃんとしろ！
にはじまり農業工業商業と続く
士農工商別の職業倫理





(5) 教訓科 5点 躰。重視された。

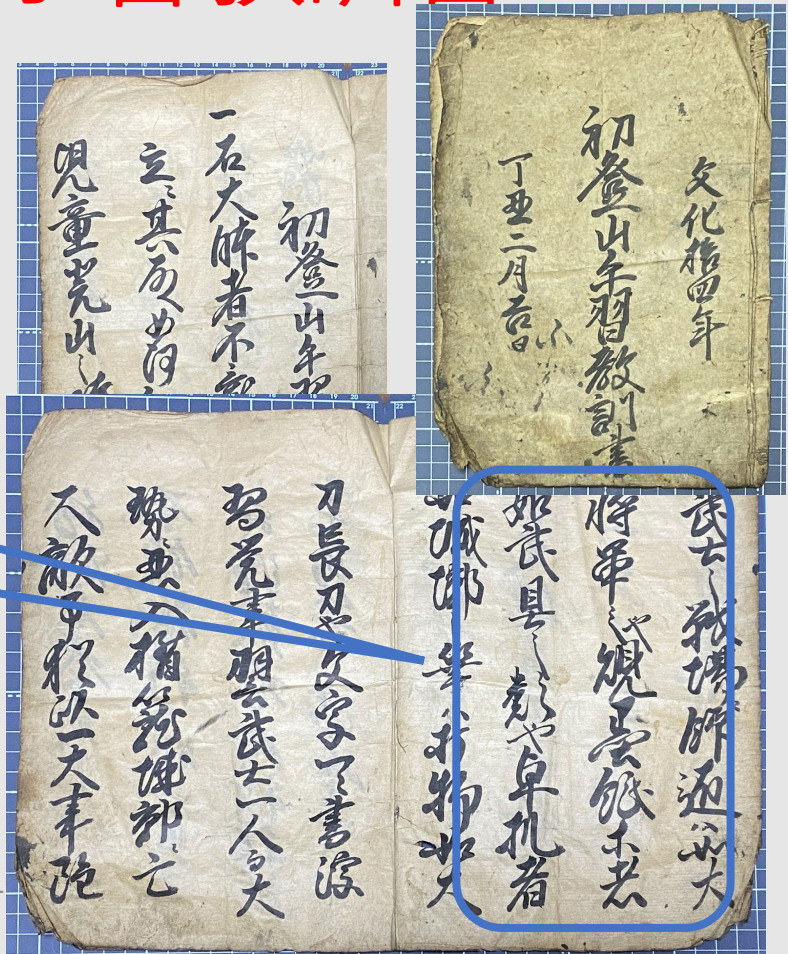
教訓 1. 初登山(登校)手習教訓書

(はつとうざん・・・、梶原
平三・曾我太郎(伝)、室町末
期以前成立推定

45字 x 15p約700字、

師匠は大將軍の如し、
硯墨紙等は武具の類也・・・

から始まる教訓



教訓 2. ②五人組帳前書

12/24



江戸幕府、
1700年前後
農家向け法令集、
年により50条前後、
続く本文は住民協定見本



教訓 3. 6. 実語教童子教

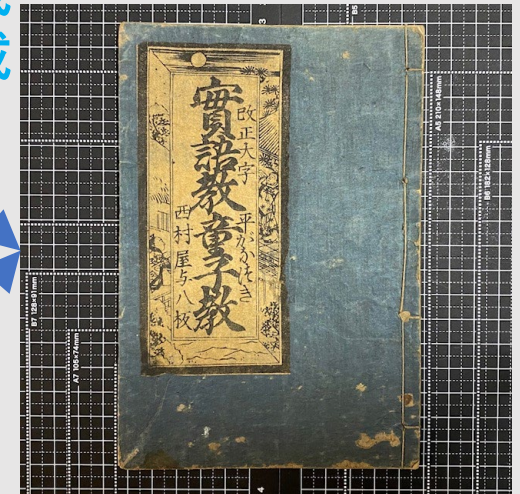
10/24



仏教五戒
不殺生戒
不偷盜戒
不邪淫戒
不妄語戒
不飲酒戒

○**童子教**、僧安然(伝)、
1377以前、1560字の教訓集
「(寺)には三礼...、
(神社)には再拝...
人には一礼...」

○**実語教**、(俗説)弘法大師、
平安期、480字の教訓漢詩集
「人肥えたる(裕福)がゆえに
尊からず...」
財より智他





教訓 4 . ③ 今川状

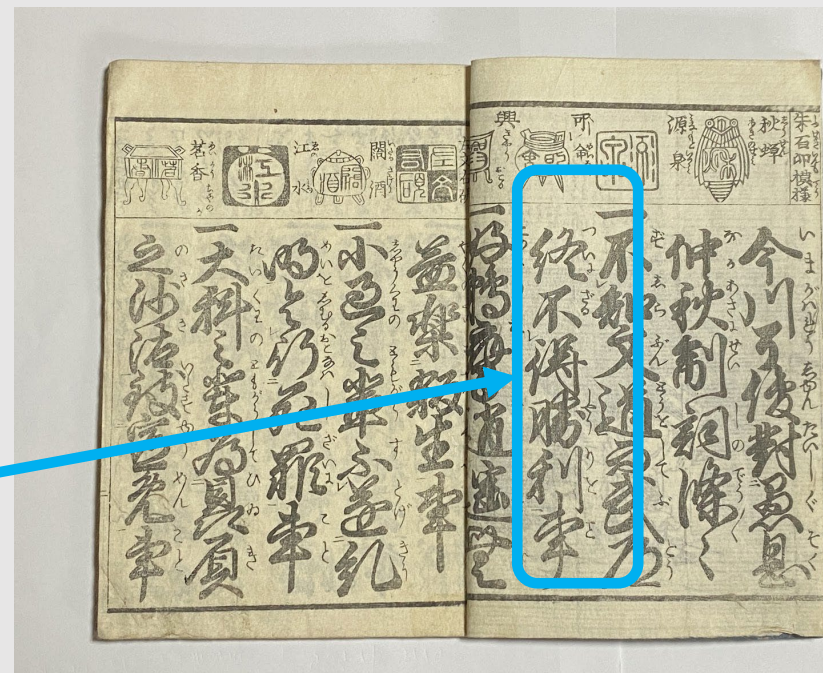
今川了俊(1326-1418頃、
今川義元先祖)、

今川家家訓22ヶ条・

・杉並今川周辺は今川氏領地

1. 不知**文**道**武**道終に
不得勝利事、

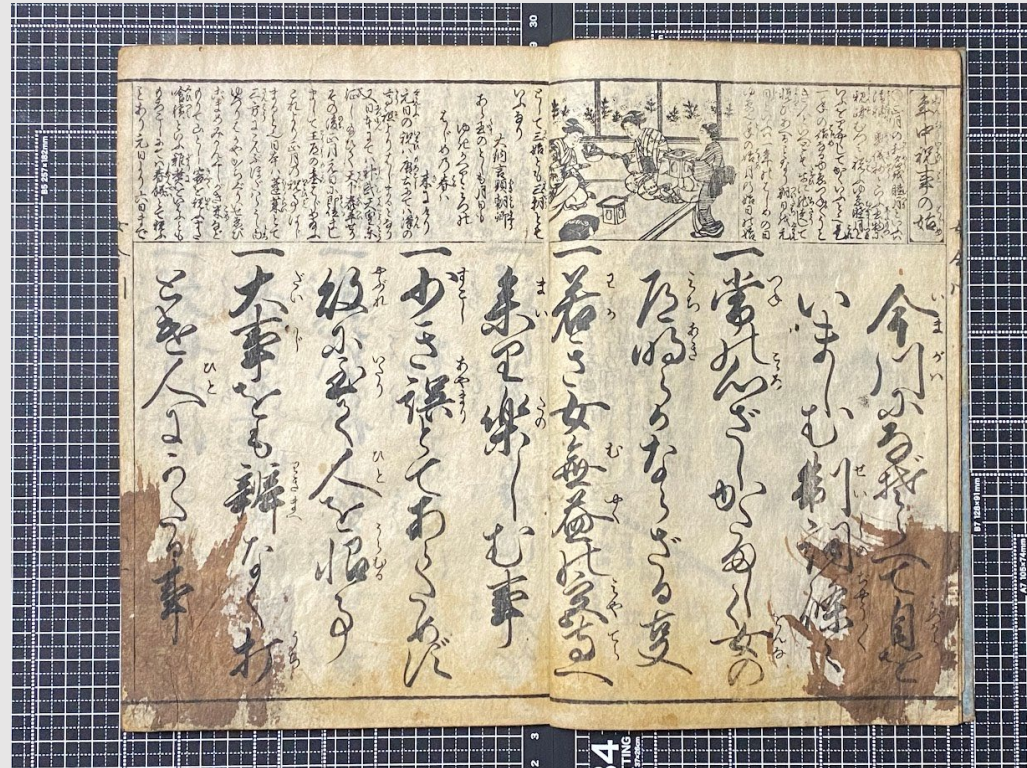
・学問武芸を怠ると負ける



教訓 5. 女今川(女今川錦の小寶)

元本は沢田きち著、
1700以前

賤。
重視された。
今川状の女性版



(6) 曆占科 3点。 当時は必修知識で比重が大

曆占1. 男女一代八卦

1786以前、

易の占い書

易の八卦をいろはに置き換えている。



曆占2. 大雑書

和泉屋市兵衛刊、文化13
再刊

陰陽道の占い書
生活の指針、吉凶を記述。
江戸時代に広く普及。



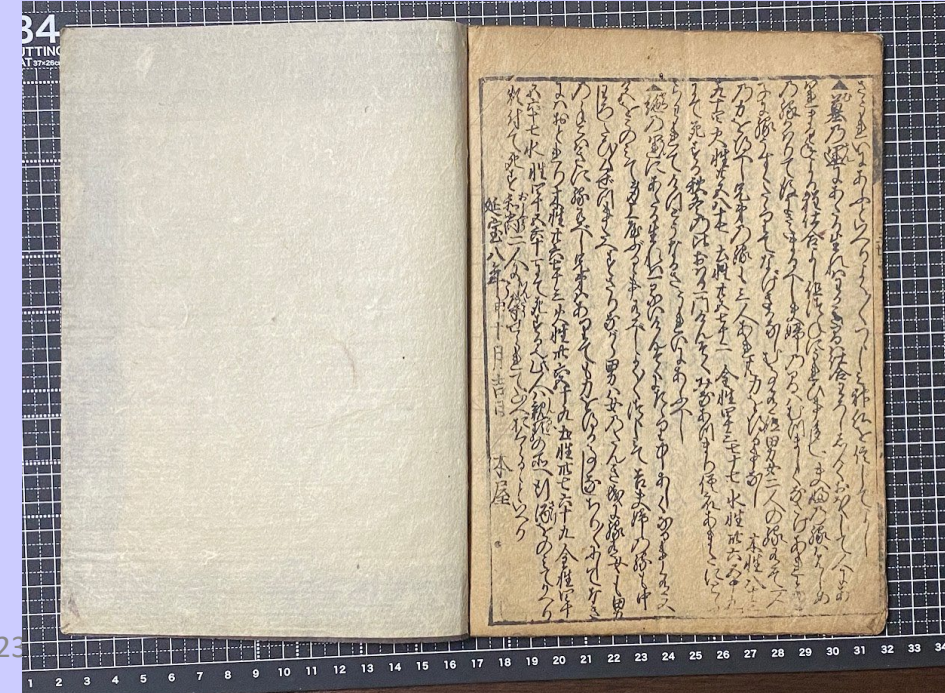
曆占3. 三世相小鑑

画入三世相小かがみ
延宝8年刊、本屋

三世：過去現在未来

三世相：仏教因縁説占
い的一种

江戸中期、曆占書



III. 教師用書物

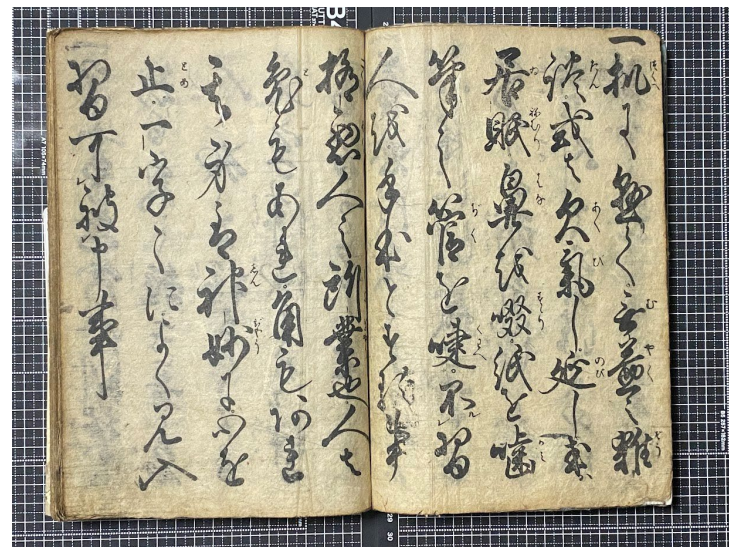
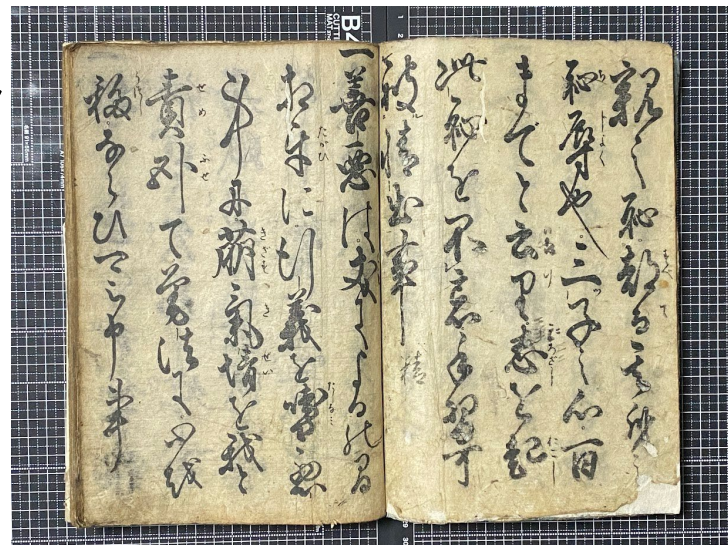
3点規則例、教授法な

教1. **寺子新式目**、笹山梅安、(1695)(1788)

寺子屋規則

式目：箇条書きの規則

式目部分は手習新式目と同じ

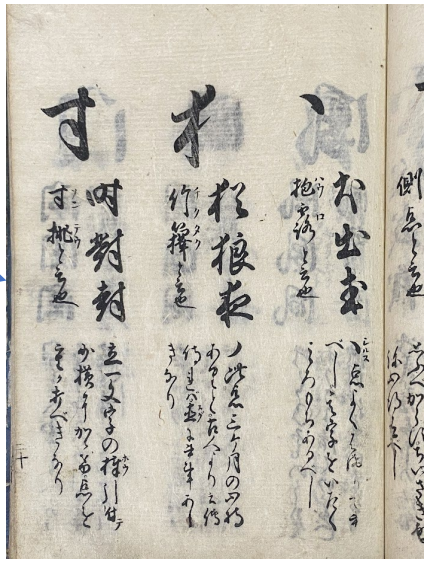
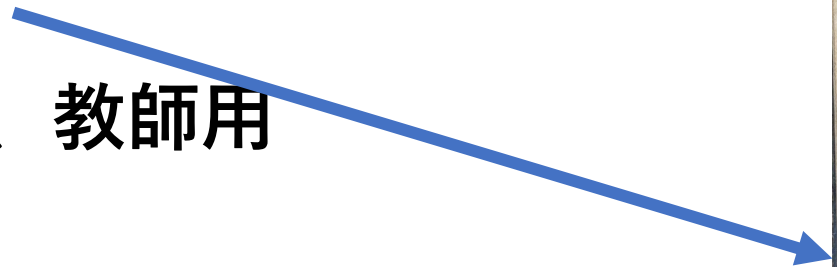
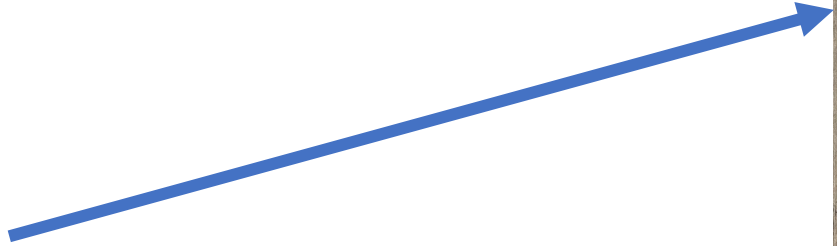




教2. 手習い仕用集

笹山梅安、(1693)
教授法

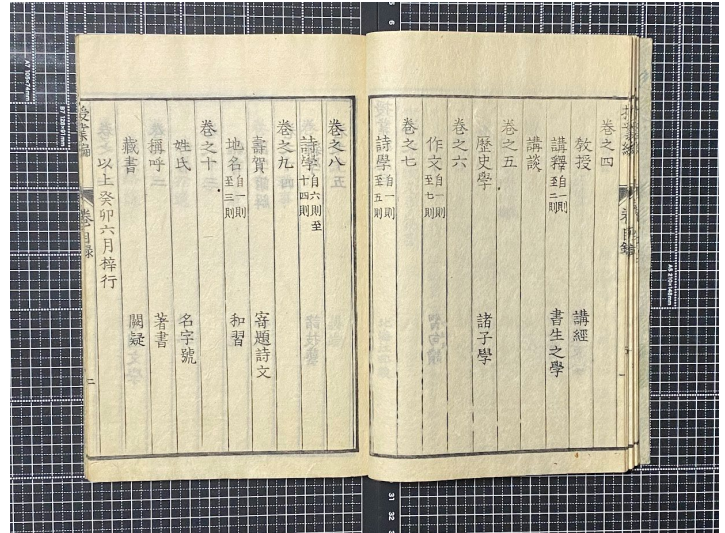
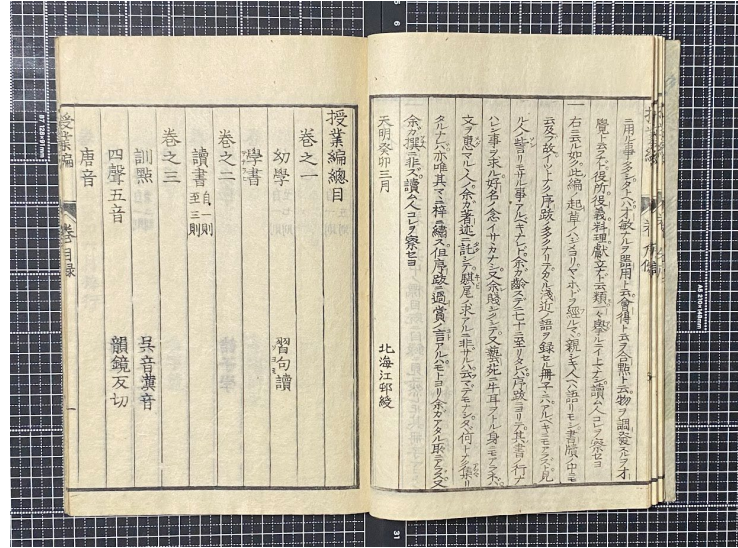
筆の持ち方、
筆の運び方
から始まる、教師用
マニュアル



教3. 授業編



- 山村蘇門(序)、(1783)
- 幼児教育から老年教育まで扱う



IV. 読み方

- 崩し字学習
 - 崩し字辞書
 - 学習アプリ
 - 崩し字講座
- 崩し字解読AI
 - 例

V. おわりに

まとめ

- ①必読書＋その他 31タイトル
- 教師用書物 3タイトル
- 計34タイトルを説明

今後

- 崩し字学習
- 精査



引用資料

24/24



1. 吉田太郎、寺子屋における歴史教育の研究、横国大教育紀要6(1967), 39-59、
<https://cir.nii.ac.jp/crid/1520853834878731904>
2. 石川松太郎、藩校と寺子屋、p238、1978、教育社
3. 久保田信之、江戸時代の人作り、74p、1978、日本教文社。
4. 丹和浩解説、寺子屋の学習と往来物、平成5(1993) 展示を編集、東京学芸大学教育
コンテンツアーカイブ、1993
9. 夜久学館所蔵書籍。一覧表, 2023
<http://www.yaku.org/shop/ichiranHyoKakakuType.html>
10. 夜久竹夫、寺子屋教育と現在、第168回応用オートマトン研究会資料。YGD-2023-005